

市民自治力向上とアクション・リサーチ研究班 (AR研究班)

アクションリサーチの枠組み外し

本セミナーでは、『枠組み外しの旅』の著者である竹端教授をお招きし、アクションリサーチの原点である現場における対話を通じた変化や、実践家のみならず研究者自身の変化についても研究対象とすることの可能性について学び合います。先生のご報告をもとに、フロアとのディスカッションを通して、アクションリサーチのあり方についての意見交換をおこなうことを予定しています。

<講師> **竹端 寛**

山梨学院大学法学部・教授

大学院時代の精神科病院でのフィールドワークを皮切りに、国内外で現場に根ざした調査を実施。また、国内の福祉現場に携わる支援者や行政職員のエンパワメントにも実践・研究の双方で関わる。著書に『枠組み外しの旅—「個性化」が変える福祉社会』(青灯社、2012年)、『権利擁護が支援を変える—セルフアドボカシーから虐待防止まで』(現代書館、2013年)、他。

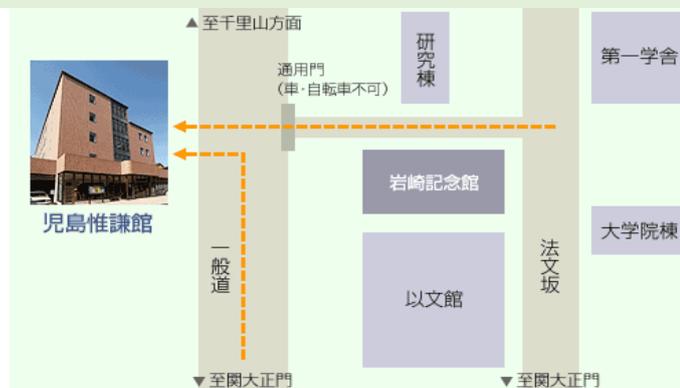
<司会・コメンテーター> **室田 信一**

AR研究班委嘱研究員
首都大学東京都市教養学部・准教授

日時: 平成26年10月17日 (金)

16:30~19:00

場所: 関西大学千里山キャンパス
児島惟謙館2階 第2会議室



関西大学



関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>